

化学／繊維／金属部会の活動概況

化学／繊維／金属部会
部会長 焼本 数利



1. 部会の主要な活動(講演会・幹事会・例会・業績発表会・HP更新・会報・委員会兼務等)

当部会は、化学、繊維または金属を技術部門とする中国本部の会員で構成される(表-1)。

表-1 当部会の県別部会員構成(2021年3月)

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
正会員	3	1	8	19	13	44
準会員	0	1	5	7	1	14
合 計	3	2	13	26	14	58

2020、2021年度は、コロナ禍の下で、当部会の幹事会、講演会、例会は全てTeamsによるオンライン形式で行った。以下に概況を示す。

2. ウイルス感染症理解のための講演会開催

感染症を防止しながら様々な素材、部品、製品を取扱かっていくためには、感染症とその対策を理解する必要がある。そこで当部会は、『抗菌・抗ウイルス・滅菌の技術及び家庭における除菌・ウイルス除去対策』をテーマとして、表-2に示す5件の講演を実施した。第2回講演会は環境/衛生工学/生物工学/原子力・放射線部会と当部会との共同開催である。詳細は文献1)、2)で報告されている。

表-2 2021年度 オンライン講演会テーマ

講演会	講師	講演題目
第1回	① 一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター 神戸試験センター長 射本 康夫 氏	「抗菌、抗ウイルス評価方法の概要、製品、最新技術動向」
	② 株式会社神戸製鋼所 牧野 裕輝 氏	「ニッケル系高機能抗菌処理技術」
	③ 花王株式会社 マーケティング開発センター 表記・表示マネジメント部 マネージャー 柳田 浩幸 氏	「不織布の基礎と不織布を用いた『クイックワイパー』の開発秘話、並びに家庭における除菌、ウイルス除去への展開」
第2回	④ 就実大学薬学部講師 山田 陽一 氏 産業技術総合研究所 先進コーティング技術 研究センター 研究センター長 明渡 純 氏 株式会社エナジーフロント 代表取締役 上田 剛志 氏	「感染症対策表面創成へのアプローチ」
	⑤ ラボテック株式会社 研究本部長 吉田敦美氏	「衛生工学の視点から考えるコロナ感染防止」

講演会への参加者数を2020年度と2021年度とで比較して表-3に示す。昨年度は『自動車産業の大変革に伴う材料技術・部品の進化』がテーマであった。今年度は世間の関心がより高いテーマであったため、参加者が1.5倍に増加した。さらに、統轄本部のHPから参加

申込みが可能になったことにより、参加者が属する都道府県や技術部門も大幅に増加した。

表-3 2020、2021年度 部会講演会の参加者

年度	2020年度		2021年度	
	自動車産業の大変革	抗菌・抗ウイルス	抗菌・抗ウイルス	抗菌・抗ウイルス
講演会(日付)	第1回8/29	第2回10/3	第1回7/3	第2回10/2
申込者数(人)	62	49	80	95
参加者数(人)	55	41	73	86
申込み都道府県数	13	12	20	25
申込み技術部門数	13	12	17	16

参加者のアンケートでは、講師各位のご配慮により、「用語の解説から最新技術動向に至るまで丁寧に解説され、分かり易く充実した内容」と評価を頂いた。今後、新たな技術や製品への応用に結びつくことが期待される。

3. 幹事会(企画、事業計画、協議・連絡)

3.1 第1回幹事会(2021/5/8[土]) 17名

3.1.1 2021年度講演会テーマの選定「抗菌」

本年度の講演会は「抗菌」をテーマとする事になった。中国地方の中小企業が有するユニークな独自技術も候補に挙がっていたが、適当なテーマが無く見送りとなった。第1回講演会の講師は射本氏、牧野氏、柳田氏に依頼し、伊藤副部会長、寺阪副部会長、吉原幹事が交渉にあたった。2回に分けて講演会を開催し、第2回は環境部会との共催が実現した。その際の講師は、環境部会のご紹介により、就実大学山田講師、ラボテック(株)古田幹事に依頼することとなった。

3.2 第2回幹事会(2021/11/13[土]) 16名

3.2.1 行事開催の連絡と参加の呼びかけ

- ①新CPD制度の説明会 11/4, 11/20, 12/1
- ②広島例会・中国本部業績発表年次大会 12/4, 5 当部会は中井芳雄氏が発表。
- ③技術士全国大会 11/25~27
- ④機械・電気情報・化学金属 新春合同講

演会 2022/1/8, 1/22

⑤技術士業務開業研修会 2022/1/15

⑥CPD 活動実績の管理及び運用、新型コロナウイルス後を見据えた事業運営について、伊藤副部長より説明された。

3.2.2 2022 年度の事業計画(協議)

(1) 化学金属部会講演会の反省点と対策

第1回講演会は73名、第2回は86名の参加を頂き成功裏に終了した。しかし、当部会員の発表が無かったことが反省点である。部会員による講演を実現するために、①勉強会等の活動を企画する、②部会員が発表しやすいテーマを講演会で設ける等の工夫をする。

(2) 化学金属/機械/電気情報 合同見学会

2022年度は当部会が合同見学会の当番となる。まず部会内で見学会検討チームを作り、共催部会及び中国本部と相談しながら、見学先を案出し、実施条件及び実施可否を定める。過去の見学会は9～11月の開催が多い。但し、この時季の新型コロナウイルス感染状況は不透明であるため、見学に替わる行事も準備する。

4. HP(ホームページ)維持管理のための活動

統轄本部で今年1月に了承された「ウェブサイト掲載内容等に関する規則の制定について(案)」に基づいて、HPの自己監査を行うため、櫻井副部長が広報委員を兼務した。具体的活動として、当部会のHPを更新し、2015～2021年度の概況報告、講演会実績を整備した。今後、講演会や見学会等の行事を実施した場合は、迅速に報告書・議事録等をHPに掲載・更新するように努めていく。

5. 2021年度 広島例会・中国本部業績発表年次大会での発表

標記の業績発表会にて、当部会の中井幹事が以下の発表を行った³⁾。

題目：「技術士事務所・足掛け20年」～日韓での実施例～

講師：中井芳雄氏 中井技術士事務所(技術士：化学部門) 化学/繊維/金属部会幹事

図-1はコンサルの要点の一部を示す³⁾。

コンサル / 持続・円滑化(韓国での経験 ... 私見)

1. 専門家として一目おかれる存在であること。
2. 相手をほめる度量 必要。
3. 下手な歴史・政治論議は無用。
百害あって一利なし。
4. 自分なりの歴史認識を持っている⇒相手にわからせる。
ノンポリでは尊敬されない⇒関連書の多読要。

図-1 韓国でのコンサルの要点の一部³⁾

6. 統括本部、中国本部、他部会との連携活動

化学部門、繊維部門、金属部門に登録された部会員は、それぞれ統括本部の化学部会、繊維部会、金属部会と密接に連携して情報交換、交流を進めている。統括本部化学部門の幹事も務めている。中国本部内では、機械部会、電気情報部会と共同で見学会を開催している。さらに、役員会、活用委員会、広報委員会、環境部会、倫理委員会、温暖化対策委員会等、様々な部会と活発に活動している。

7. 当部会の課題と対応

(1) 部会が開催する講演は数件に限られる。このため、統轄本部、他部会、外部を含めて、基礎から最先端に至るより豊富なCPD講演会を活用・啓蒙する取り組みを推進していく。

(2) 部会内・部会間のコラボレーションを推進するために、キャリア・シート等のコミュニケーションツールを整備していく。

<出展・参考資料>

- 1) 寺阪冬樹「2021年度中国本部化学/繊維/金属部会第1回講演会～抗菌・抗ウイルス・滅菌の技術及び家庭における除菌・ウイルス除去対策～」講演要旨、日本技術士会中国本部会報NO. 23
- 2) 古森 龍一「2021年度中国本部化学/繊維/金属部会第2回講演会～抗菌・抗ウイルス・滅菌の技術及び家庭における除菌・ウイルス除去対策～」講演要旨、日本技術士会中国本部会報NO. 23
- 3) 中井芳雄「2021年度 広島例会・中国本部業績発表年次大会」業績発表会 配布資料